



## 2025年11月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年10月14日

上場会社名 株式会社 エスプール 上場取引所 東  
コード番号 2471 URL <https://www.spool.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗 TEL 03-6859-5599  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年11月期第3四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	18,895	3.9	1,341	4.9	1,124	△0.3	757	△27.7	756	△27.8	755	△29.4
2024年11月期第3四半期	18,179	△6.1	1,279	△39.1	1,128	△44.0	1,047	△20.9	1,047	△21.0	1,070	△19.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	9.65	—
2024年11月期第3四半期	13.26	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	40,231	9,518	9,527	23.7
2024年11月期	39,714	9,826	9,836	24.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年11月期	—	0.00	—		
2025年11月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,828	5.0	3,074	10.4	2,804	9.1	1,907	△9.2	1,907	△9.2	24.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期3Q	79,007,500株	2024年11月期	79,007,500株
② 期末自己株式数	2025年11月期3Q	903,855株	2024年11月期	3,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期3Q	78,389,411株	2024年11月期3Q	79,003,645株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(セグメント情報) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の関税政策や物価上昇の継続による個人消費の減速懸念等、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような状況下、当社グループは、社会的価値と経済的価値創出の両立を経営の基本方針とし、社会貢献性が高く、付加価値の高い事業を複数展開するポートフォリオ経営を推進しております。中でも優良な顧客基盤を有し、高い成長が期待できる「障がい者雇用支援サービス」、「環境経営支援サービス」、「広域行政BPOサービス」を重点注力分野と定め、事業拡大を推進しております。

そのような中、当社グループの業績は、ビジネスソリューション事業が人材ソリューション事業の落ち込みを補い、売上収益・営業利益ともに増収増益を達成しました。ビジネスソリューション事業は、主力の障がい者雇用支援サービスが好調を維持し、設備販売を前倒しで進めた結果、売上・利益ともに順調に拡大しました。環境経営支援サービスは、関連法案の改正に伴う排出量取引の活発化を見据えた動きから、カーボンクレジットの販売が伸長しました。一方、広域行政BPOサービスは、国策系業務が開始したものの、業務の拡大が限定的となった影響により、全体としては売上が伸び悩む結果となりました。

人材ソリューション事業は、コールセンター業務及び販売支援業務の人材派遣に需要回復の傾向が見られるものの、人材獲得競争の激化により派遣スタッフの獲得が計画通り進まず、売上減となりました。しかしながら、利益面については、高単価案件への注力や販売管理費の抑制などの取り組みにより、営業利益の減少幅を抑制することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は18,895百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益は1,341百万円（前年同四半期比4.9%増）、税引前四半期利益は1,124百万円（前年同四半期比0.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は756百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

2025年11月期第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：百万円)	2024年11月期 第3四半期	2025年11月期 第3四半期	増減率
売上収益	18,179	18,895	3.9%
営業利益	1,279	1,341	4.9%
税引前四半期利益	1,128	1,124	△0.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,047	756	△27.8%

当第3四半期連結累計期間のセグメント経営成績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

[事業概要]

ビジネスソリューション事業では、企業のサステナビリティ経営の推進を支援するサービスや、企業の業務の一部を受託するアウトソーシングサービスを提供しています。前者においては、株式会社エスプールプラスが、障がい者の就労に適した農園を企業に貸し出し、主に知的障がい者の採用・教育から定着までを支援するサービスを提供しており、株式会社エスプールブルードットグリーンでは、温室効果ガス排出量の算定や環境情報の開示に関するコンサルティング、カーボンオフセット仲介など、企業の環境経営を支援するサービスを提供しています。

後者のアウトソーシングサービスでは、株式会社エスプールグローバルが、複数の自治体の行政業務を一括で受託する広域行政BPOサービスを提供しています。また、株式会社エスプールリンクは、アルバイトやパートの採用業務を代行するサービスを提供しており、株式会社エスプールセールスサポートでは、対面型の会員獲得業務や販売促進業務を行っています。さらに、株式会社エスプールロジスティクスでは、通販商品の発送を代行する物流サービスを行っています。

[当第3四半期連結累計期間の経営成績]

障がい者雇用支援サービスは、新規・既存顧客ともに農園サービスに対する引き合いが強く、営業活動は順調に推移しました。また、新農園を既存農園とは異なる地域に開設したことで、障がい者の新規採用が円滑に進み、設備販売を前倒しで進めることができました。環境経営支援サービスは、GX推進法改正による排出量取引の活発化を受け、カーボンクレジットの販売が伸長しました。コンサルティングサービスにおいては、自治体向けの受注は苦戦したものの、主力である企業向けは、第4四半期の繁忙期に向け、受注が順調に積み上がりました。一方、広域行政BPOサービスは、国策系の業務が開始したことで売上は増加したものの、業務の拡大が限定的となった影響等により、全体としては伸び悩む結果となりました。その他サービスでは、セールスサポートサービスは、対面型プロモーションの評価が高く、ナショナルクライアントとの取引拡大が続き、売上を大きく伸ばしました。採用支援サービスは、新サービスの投入効果により、売上は堅調に推移しました。ロジスティクスアウトソーシングサービスは、売上の伸びは限定的だったものの、物流センターの現場改善と顧客への請求価格見直しにより、収益改善が徐々に進み、当第3四半期は黒字に転じました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は11,663百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益は2,230百万円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

②人材ソリューション事業

[事業概要]

人材ソリューション事業は、人材派遣サービスを主力とする株式会社エスプールヒューマンソリューションズが提供するサービスで、コールセンター等のオフィスサポート業務、スマートフォンや家電製品などの店頭販売支援業務、建設業界向けの施工管理業務に関する人材サービスを展開しています。サービスの特徴は、フィールドコンサルタント（FC）と呼ばれる同社の従業員と派遣スタッフをチームで派遣する「グループ型派遣」の形態を採用している点になります。派遣先に常駐するFCが派遣スタッフを現場で手厚くフォローすることで、未経験者を短期間で育成できるだけでなく、定着率の向上にも貢献し、顧客満足度の向上とシェア拡大につながっています。

[当第3四半期連結累計期間の経営成績]

主力のコールセンター業務及び販売支援業務の人材派遣は、需要回復の傾向が見られるものの、幅広い業種との人材獲得競争の激化により、派遣スタッフの採用が計画通り進まず、需要の取り込みが限定的となり、売上は減少となりました。一方、前期から開始した施工管理技士派遣は、人材の不足感が非常に強く、当第1四半期での黒字化して以降、売上は順調に伸長しました。利益面については、高単価案件への注力による売上総利益率の改善や販売管理費の抑制などにより、営業利益の減少幅を抑制することができました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は7,296百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益は600百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

2025年11月期第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上収益（単位：百万円）	2024年11月期 第3四半期	2025年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	18,237	18,960	4.0%
ビジネスソリューション事業	10,164	11,663	14.7%
人材ソリューション事業	8,073	7,296	△9.6%
調整額	△57	△64	－%
合計	18,179	18,895	3.9%

営業利益（単位：百万円）	2024年11月期 第3四半期	2025年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	2,594	2,830	9.1%
ビジネスソリューション事業	1,963	2,230	13.6%
人材ソリューション事業	631	600	△4.9%
調整額	△1,315	△1,489	－%
合計	1,279	1,341	4.9%

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から1,604百万円減少し、7,172百万円となりました。設備投資関係の支払い、営業債権及びその他の債権の回収により現金及び現金同等物が427百万円、営業債権及びその他の債権が910百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は、前連結会計年度末から2,122百万円増加し、33,059百万円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて、新規農園の建設や既存農園の増設をしており、有形固定資産が617百万円、使用権資産が1,240百万円増加しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から820百万円減少し、10,706百万円となりました。借入金の返済、税金の納付により借入金（流動）が299百万円、未払法人所得税が276百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は、前連結会計年度末から1,645百万円増加し、20,006百万円となりました。設備投資の資金対応によりリース負債（非流動）が1,297百万円増加しております。

③資本

当第3四半期連結会計期間末の資本は、親会社の所有者に帰属する四半期利益により756百万円増加し、一方、第25期期末配当790百万円、自己株式の取得274百万円によりそれぞれ減少し、9,518百万円となりました。

④当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は前連結会計年度末から427百万円減少し、3,386百万円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比651百万円増加の3,987百万円の収入（前年同四半期は3,336百万円の収入）となりました。これは、税引前四半期利益が1,124百万円、減価償却費及び償却費が2,797百万円、営業債権及びその他の債権の減少が910百万円、法人所得税の支払額が866百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比1,582百万円減少の1,591百万円の支出（前年同四半期は3,173百万円の支出）となりました。これは、主に株式会社エスプールプラスの新農園建設等による有形固定資産の取得による支出1,468百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比2,293百万円増加の2,823百万円の支出（前年同四半期は530百万円の支出）となりました。これは、長期借入による収入1,500百万円、長期借入金の返済による支出936百万円、リース負債の返済による支出1,723百万円、配当金の支払額789百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月14日に公表いたしました2025年11月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,814	3,386
営業債権及びその他の債権	4,223	3,313
棚卸資産	276	204
その他の流動資産	462	268
流動資産合計	8,777	7,172
非流動資産		
有形固定資産	14,585	15,203
使用権資産	14,798	16,039
無形資産	113	108
その他の金融資産	1,134	1,231
繰延税金資産	304	476
非流動資産合計	30,937	33,059
資産合計	39,714	40,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,091	1,248
借入金	5,616	5,317
リース負債	1,782	1,761
その他の金融負債	23	20
未払法人所得税等	517	240
その他の流動負債	2,495	2,117
流動負債合計	11,527	10,706
非流動負債		
借入金	3,635	3,898
リース負債	12,969	14,267
引当金	1,752	1,837
繰延税金負債	3	3
非流動負債合計	18,360	20,006
負債合計	29,887	30,713
資本		
資本金	372	372
資本剰余金	246	245
利益剰余金	9,418	9,385
自己株式	△0	△274
その他の資本の構成要素	△200	△201
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,836	9,527
非支配持分	△10	△9
資本合計	9,826	9,518
負債及び資本合計	39,714	40,231

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上収益	18,179	18,895
売上原価	11,996	12,186
売上総利益	6,183	6,708
販売費及び一般管理費	4,921	5,459
その他の収益	48	94
その他の費用	32	2
営業利益	1,279	1,341
金融収益	0	2
金融費用	151	219
税引前四半期利益	1,128	1,124
法人所得税費用	80	367
四半期利益	1,047	757
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,047	756
非支配持分	0	1
四半期利益	1,047	757
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	13.26	9.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期利益	1,047	757
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	21	△2
純損益に振り替えられることのない項目合計	21	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	0	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	0	0
税引後その他の包括利益	22	△1
四半期包括利益	1,070	755
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,069	754
非支配持分	0	1
四半期包括利益	1,070	755

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
2023年12月1日残高	372	246	8,109	△0	△0	△221	△222
四半期利益	—	—	1,047	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	0	21	22
四半期包括利益合計	—	—	1,047	—	0	21	22
配当金	—	—	△790	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△790	—	—	—	—
2024年8月31日残高	372	246	8,366	△0	△0	△199	△199

	親会社の所有者に帰属する持分	非支配持分	合計
	合計		
2023年12月1日残高	8,505	△10	8,494
四半期利益	1,047	0	1,047
その他の包括利益	22	△0	22
四半期包括利益合計	1,069	0	1,070
配当金	△790	—	△790
所有者との取引額合計	△790	—	△790
2024年8月31日残高	8,785	△10	8,774

当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権
2024年12月1日残高	372	246	9,418	△0	△0	△199	—
四半期利益	—	—	756	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	0	△2	—
四半期包括利益合計	—	—	756	—	0	△2	—
配当金	—	—	△790	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—	1
自己株式の取得	—	△0	—	△273	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△0	△790	△273	—	—	1
2025年8月31日残高	372	245	9,385	△274	△0	△202	1

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素	合計	非支配持分	合計
	合計			
2024年12月1日残高	△200	9,836	△10	9,826
四半期利益	—	756	1	757
その他の包括利益	△2	△2	0	△1
四半期包括利益合計	△2	754	1	755
配当金	—	△790	—	△790
新株予約権の発行	1	1	—	1
自己株式の取得	—	△274	—	△274
所有者との取引額合計	1	△1,063	—	△1,063
2025年8月31日残高	△201	9,527	△9	9,518

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,128	1,124
減価償却費及び償却費	2,501	2,797
金融収益	△0	△2
金融費用	151	219
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△75	910
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84	72
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	305	157
その他の増減	377	△209
小計	4,302	5,070
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△150	△218
法人所得税の支払額	△816	△866
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,336	3,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,019	△1,468
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形資産の取得による支出	△60	△23
敷金及び保証金の差入による支出	△229	△122
敷金及び保証金の回収による収入	132	19
その他	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,173	△1,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	△600
長期借入による収入	2,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△686	△936
リース負債の返済による支出	△1,555	△1,723
自己株式の取得による支出	—	△274
配当金の支払額	△787	△789
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530	△2,823
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△367	△427
現金及び現金同等物の期首残高	3,378	3,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,011	3,386

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アウトソーシング、人材派遣等の役務提供を主な事業としており、提供するサービスの特性から、報告セグメントを「ビジネスソリューション事業」、「人材ソリューション事業」の2つとしております。

「ビジネスソリューション事業」は、主に障がい者雇用支援サービス及び広域行政BPOサービス、ロジスティクスアウトソーシングサービス、環境経営支援サービスであります。その他、セールスプロモーション分野のアウトソーシングサービスや採用支援サービスも含まれております。

「人材ソリューション事業」は、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しており、主要な業務はオフィスサポート人材派遣事業と販売支援人材派遣事業であります。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

セグメント間の売上収益は、市場価格に基づいております。また、報告セグメントの利益は営業利益の数値であります。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ビジネス ソリューション 事業	人材 ソリューション 事業	計		
売上収益					
外部収益	10,127	8,052	18,179	—	18,179
セグメント間収益	37	20	57	△57	—
合計	10,164	8,073	18,237	△57	18,179
セグメント利益(注) 2	1,963	631	2,594	△1,315	1,279
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	151
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,128

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,315百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,315百万円であります。また、全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ビジネス ソリューション 事業	人材 ソリューション 事業	計		
売上収益					
外部収益	11,631	7,263	18,895	—	18,895
セグメント間収益	31	33	64	△64	—
合計	11,663	7,296	18,960	△64	18,895
セグメント利益(注) 2	2,230	600	2,830	△1,489	1,341
金融収益	—	—	—	—	2
金融費用	—	—	—	—	219
税引前四半期利益	—	—	—	—	1,124

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,489百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,489百万円であります。また、全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。